

・地域活動体験！ツアー 雲原まかせ「くもはらって、どんどこ？」

日時 平成25年2月16日（土）～17日（日）

場所 京都府福知山市雲原地区



様々な魅力にあふれる福知山の雲原地域を訪問し、地域そのものや、人、暮らしと直に触れ合う1泊2日の体験ツアー。雲原で地域活動を始めた吉田美奈子さんから、地域の皆さんに協力を呼びかけて、2日間の事業を企画しました。

最初は、福知山厚生会館で開催中の「福知山のうまいもの展2013」を見学しました。人でごった返す中、北陵うまいもん市雲原店のブースでは、雲原こんにやくや水車米を明るい笑顔で売る皆さんと交流しました。

ここで、買い出し班と体験準備班に分かれて移動。雲原水車広場で、雲原の方々との対面。皆さんの御指導により、100%地そば粉のそば打ち体験。そば打ち名人・津根さんをはじめ雲原の高校生も手伝いに来てくれました。きしめんのような太いそばも、みんなでつくって食べると美味しい。「スゲー！」「そうするんか！」と笑い声があふれていました。

温泉で入浴をすませて、夜は「雲の原っぱ」にて、雲原の皆さんたちとの懇親会。うまいもの展で購入した雲原こんにやくや、みんなでつくったおそばもテーブルに並んでいました。非常に寒い日でしたが、みんなで鍋をかこみ、あったかい夜となりました。

長いつららが何本もできるような寒い朝、雲原消防分団の御指導のもと、除雪作業と消防団活動を体験しました。詰所前での号令を経て、水車広場の雪かきへ。「水車定食を食べに来たお客さんが入りやすいように」「水車を見学しやすいようにこんくらの（と、手を横に大きく広げる）幅で」など、説明のなかに「雲原のあたりまえ」のホスピタリティが感じられました。除雪機も登場し、扱い方を丁寧に教えていただき、雪という雪を飛ばしました。分団活動体験では、「消防団の目的は火を消すことですが、大事なことは予防」「ここでやって、自分たちの地域で何かあったときに役に立ててもらえたら」と話しておられました。



水車広場に戻り、食事を作られている方から説明を受けて、ボリューム満点の水車定食をいただきました。午後は、地元の皆さんが作られたピザ釜を見学し、「雲原ピザ」を一緒に考案しようと、地域の子どもたちと一緒に、わいわい盛り上がりながら、焼いては食べ、焼いては食べ。いい具合にぼかぼかしてきて、にぎやかながらも、ゆったりした時間となりました。